

1. 転学部および転学科

転学部および転学科は、学部により転入の取扱い条件が異なります。希望する場合は、所属学部の教務掛で所定の手続きをしなければなりません。出願は1学部(学科)に限られており、出願後の取消しはできませんので十分検討したうえで出願してください。

転学部および転学科の手続きは、「資格照会手続き」の後、有資格者には出願書類が交付されます。各学部の取扱い条件及び手続きの詳細については、9月中旬に掲示によりお知らせします。

2. 教育職員免許状の取得について

将来、高等学校、中学校または特別支援学校の教員になることを希望する学生は、所属学部の便覧を参照するとともに、4月に実施予定の教職課程オリエンテーションを必ず受講してください。詳細は別途通知します。また、教育職員免許状取得について不明な点があれば、所属学部の教務掛へ問い合わせてください。

教育免許状取得希望者は、平成28年11月に改正された教育職員免許法(昭和24年法律第147号)に定められている「教科及び教職に関する科目」及び「全学共通科目」から指定された科目の単位を修得することによって、教員の免許状を取得する資格を得ることができます。

「教科及び教職に関する科目」に含まれる「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、教科に関する専門的事項の単位は所属学部等で開講している授業科目の中から、これに対応する科目の単位を充当します。

教科に関する専門的事項以外の単位については、教育学部で開講されている授業科目の中から、指定された科目を履修し、単位を修得してください。

なお、平成30年度以前の学部入学者は、教育職員免許法の改正に伴う経過措置の適用を受ける場合があります。

適用を受ける学生は、改正前の教育職員免許法に定められた「教科に関する科目」、「教科または教職に関する科目」、「教職に関する科目」及び「全学共通科目」から指定された科目の単位を修得することによって、教員の免許状を取得する資格を得ることができます。

「教科に関する科目」の単位については、所属学部等で開講している授業科目の中から、これに対応する科目の単位を充当します。

「教科または教職に関する科目」については、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」の必要単位数を超えて修得した場合、その単位を当該単位として充当します。

「教職に関する科目」の単位については、教育学部で開講されている授業科目の中から、指定された科目を履修し、単位を修得してください。※平成22年度学部入学者から、教職総合演習(平成24年度を以って廃止)に替わる科目として教職実践演習(平成25年度後期から開講)を履修(必修)しなければなりません。

履修が必要な授業科目の詳細については、所属学部で交付している「履修カルテ(単位修得状況)」で確認してください。

全ての教科《国語、社会、地理歴史、公民、理科、数学、英語等》について「教科及び教職に関する科目」のほかに全学共通科目から次の科目を履修してください。

- ・「日本国憲法」2単位：日本国憲法
- ・「体育」3単位以上：健康科学I(旧「健康科学」平成27年度科目名変更)・II、健康心理学I・II、運動科学I(旧「運動科学」平成27年度科目名変更)・II、運動医科学、体力医科学、の中から1科目とスポーツ実習(IA・IB・IIAまたはIIBの中から1科目)の両方とも必要、なお、旧「健康科学」と運動医科学は平成24年度修得分から認定。
- ・「外国語コミュニケーション」2単位：英語リーディング、英語ライティング・リスニング(平成27年度以前入学者は英語I・II)、ドイツ語I・II、フランス語I・II、中国語I・II、ロシア語I・IIから選択
ただし、英語I・IIが未修得の平成27年度以前の入学者については、平成31年度以降、ドイツ語I・II、フランス語I・II、中国語I・II、ロシア語I・IIから選択
- ・「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2単位：統計入門 ※
- ・「情報機器の操作」2単位：該当科目を所属学部を確認すること ※

※「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」及び「情報機器の操作」については、どちらか1科目(2単位)を履修してください(本学では「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2単位を履修することを推奨しています)。

中学校教諭免許状取得希望者は、特別支援学校での2日間と社会福祉施設等での5日間、合計7日間の「介護等体験」が必要になります。

3. 学芸員となる資格取得について

(1) 学芸員の職務

博物館法（昭和26年法律第285号）に基づく専門的職員で、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

(2) 学芸員の資格

学芸員となるには、学士の学位を有し、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得していなければならない。

(3) 大学において修得すべき博物館に関する科目の単位

博物館法第5条第1項第1号の規定により大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と本学において開講される科目との関係を示すと以下のとおりである。

法令上の科目	単位数	本学該当科目	開講部局	備考
生涯学習概論	2	生涯学習概論I 生涯学習概論II	教育学部	教育学部専門科目 ※どちらか一方選択必修。 (令和4年度は生涯学習概論II不開講)
博物館概論	2	博物館学I	文学部	文学部専門科目
博物館経営論	2	博物館学II		
博物館資料論	2	博物館学III		
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	全学共通 科目	
博物館展示論	2	博物館展示論		
博物館教育論	2	博物館教育論		
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論		
博物館実習	3	博物館実習（自然史） ：2単位	理学部	※博物館実習（文化史）とどちらか一方選択必修。 ※履修要件は定めないが、学芸員資格取得に必要なその他の科目（特に博物館学I・II・IIIのうち2科目以上）を履修して受講することを推奨する。 ※博物館実習（自然史）は令和4年度より理学部専門科目として開講。 ※理学部の学生が令和4年度以降に本科目を修得した単位は卒業単位に算入される（令和3年度以前に修得した単位は卒業単位に算入されない）。理学部以外の学生については、増加単位となる（卒業単位には算入されない）。
		博物館実習（文化史） ：2単位	全学共通 科目	※博物館実習（自然史）とどちらか一方選択必修。 ※博物館学I・II・IIIのうち2科目修得済みであること。 ※増加単位（卒業単位には算入されない。）
		博物館実習（館園実務） ：1単位		※博物館実習（文化史または自然史）を修得済みであること。詳細については、シラバスを参照のこと。 ※増加単位（卒業単位には算入されない。）

4. 吉田南総合図書館の利用案内

吉田南総合図書館は、吉田南構内各関係 5 部局の図書館であると同時に、全学共通科目にも対応した図書館です。充実した新書・文庫コーナーや東西の名著を集めたグレート・ブックスコーナー、映画やドキュメンタリー等の映像ソフトを備えた視聴覚室をはじめ、幅広いジャンルの資料を提供しています。70 万冊の資料とサービスでみなさんの学習・研究活動をサポートします。



・ホームページ：<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/>



開館日と開館時間

- ・月-金 9:00 - 20:00
- ・土 10:00 - 15:00

※試験前に開館時間延長および臨時開館を実施予定。

休館日

- ・日曜日
- ・国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ・本学創立記念日（6月18日）
- ・12月29日～1月3日 ・卒業式の翌日～4月3日
- ・8月11日～8月20日 ・定例休館日

※定例休館日および臨時休館は、その都度、図書館ホームページや Twitter (@yoshidasouthlib)、掲示でお知らせします。

入館・退館

- ・入館ゲートを通るには利用証が必要です。
- ・学生証が利用証となります。
- ・手続きなしで図書館資料を持ち出された場合はアラームが鳴ります。



入館ゲート



自動貸出機

貸出（学生）

カウンター及び自動貸出機で貸出手続きができます。

開架図書	10冊 / 1ヶ月
書庫内図書	30冊 / 1ヶ月
雑誌	5冊 / 1週間

※参考図書や新聞のバックナンバーは当日の開館時間内に限り、館外へ持ち出すことができます。

※新着雑誌（最新号）の貸出はできません。

※特別貸出：夏季・春季には、休館等に応じて貸出期間の延長を行います。

返却

返却はカウンターまでお願いします。休館時は図書館入口前のブックドロップに返却してください。

※返却期限日を過ぎても返却されない場合、新たな貸出はできず、延滞日数の分だけ貸出停止となります。

貸出中資料の予約

必要とする資料が他の利用者に貸出されている場合、1人5冊まで予約することができます。ご希望の方は、MyKULINE（マイクライン）でお申し込みください。

借用中資料の更新

他の利用者の予約がない場合、貸出中の図書は1回に限り更新（貸出期間の延長）することができます。貸出期間内に MyKULINE で手続きするか、利用証をカウンターまでご持参ください。雑誌の更新はできません。

オンラインサービス（MyKULINE）

Web から図書の予約や貸出更新、文献の取り寄せ申込み等ができる便利なサービスです。

オンラインサービスのログイン ID は情報環境機構のアカウント（ECS-ID. a0*****）です。

- ・オンラインサービス（MyKULINE）について
<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/service/12718>



資料の探し方

京都大学で所蔵している図書や雑誌を京都大学蔵書検索システム KULINE（クライン）で検索することができます。

- ・KULINE

<https://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



電子ジャーナル・電子ブック・データベース

京都大学では、Web で利用できる資料がたくさんあります。文献収集に活用してください。

※専用プラグインのインストールが必要です。詳細は京都大学図書館機構サイトをご確認ください。

- ・電子ジャーナル

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13502>

- ・データベース

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13501>

- ・電子リソースへのアクセスについて

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13505>

- ・自宅学習のための電子リソースの活用について

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/service/1385204>



調査・相談

資料の見つけ方が分からないとき、必要な資料が図書館にないときは、文献の入手方法についてご案内します。お気軽にスタッフまでご相談ください。チャット、メール、電話などで受付しています。

閲覧室（1階・2階）

1階及び2階に閲覧席があります。自由にご利用ください。和書（新分類：日本十進分類表新訂8版）と洋書（新分類）、新着雑誌を配架しています。

参考図書、大型本、各種文庫・新書、グレート・ブックス、英語学習、授業用参考図書、吉田南構内関連部局の教員及び関係者図書等は別置しています。

カウンター近くには新着図書、選書、KULINE 検索用 PC があります。

雑誌書架近くには、国内外の主要な新聞があります。

（バックナンバーは1年分を保存しています。ご利用希望の方はカウンターまでお申し出ください。）

朝日新聞 / 毎日新聞 / 読売新聞 / 京都新聞 / 日本経済新聞 / 産経新聞 / 日刊工業新聞 / 図書新聞 / 週刊読書人 / The Japan Times / The Times / Le Monde / Frankfurter Allgemeine / International New York Times



2階 英語学習コーナー



2階 大閲覧室



1階 KULINE 検索用 PC



1階 グレート・ブックスコーナー

情報環境機構 OSL（2階）

情報環境機構（学術情報メディアセンター）のオープン・スペース・ラボラトリ（OSL）として、インターネットに接続できる PC 端末 10 台と、電源席があります。館内には無線 LAN を敷設しており、持ち込み PC 等をインターネットに接続することができます。



2階 OSL



2階 ベランダ

ドリンクポリシー

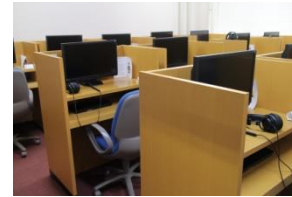
OSL・視聴覚室を除く館内の閲覧室等では、ふた付きの容器（ペットボトルや水筒）に入った飲料に限り、飲むことができます。喫煙、食事はできません。館内環境の維持にご協力をお願いします。

視聴覚室（1階）

映画、ドキュメンタリー、語学資料の DVD 等、視聴覚資料が利用できます。

※視聴覚室内の資料は館外貸出できません。

※持ち込み資料のご利用はできません。



1階 視聴覚室 2

地下書庫（地階）

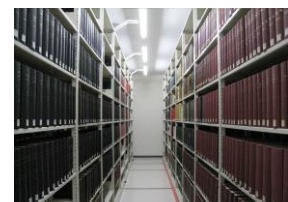
和洋図書（新・旧分類）、和雑誌等を配架しています。カウンターで入庫手続きが必要です。

南棟書庫（吉田南総合館地階）

洋図書（新・旧分類）、洋雑誌を配架しています。カウンターで入庫手続きが必要です。



地階 地下書庫



吉田南総合館地階 南棟書庫

環 on（わおん）（人間・環境学研究科棟 1階東）

「環 on」は個人・グループでの学習や研究会での利用を目的とした「話せる図書館」です。カウンター席やくつろぎスペース、グループ学習室があります。電源席を備え、無線 LAN を敷設しています。オンライン授業の受講場所としてもご利用ください。

・利用時間：月-金 8：40 - 18：30



環 on 多目的スペース



環 on L型カウンター



環 on くつろぎスペース